



開物成務

令和6年4月11日(木)発行

校長 津田 千由美

開成小学校の「すてきさん」

69名の新生を迎え、全校児童478名と66名のスタッフで、令和6年度開成小学校がスタートしました。

1年前、コロナはまだ2類(相当)でした。昨年5月にコロナが5類に移行し、年度初めから制約のない学校現場は久しぶりです。基本的な感染対策には引き続き配慮しつつ、今年度は特に、人と人との関わりの機会を増やしていきます。異学年の交流が、日常生活の中でも自然と生まれるように教室配置を変更したことも、その一つです。子どもたち自身が、自分の生活や学習を見直し、手段や方法を選びとり、新たな目標に向かって努力できる力(=自律に向かう力)を育てていきたいと考えます。

子どもが失敗から学べるように、自分の力で立ち上がることができるように、時には見守り、時にはサポート役に、時にはアドバイスを送っていけるよう、教職員一同尽力してまいります。保護者の皆様と教職員が同じ方向を向いて子どもの力を伸ばしていけるよう、今年度も引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

4月5日、5年ぶりに入学式への在校生(新6年生)の参加が叶いました。ピカピカのランドセルを背負って、ちょっぴり緊張した面持ちで、1年生が登校してきました。体育館への入場は6年生と手をつなぎ、30分間の式の間は話している人にしっかりと目を向け、時には「ありがとうございます」と反応をし、大変立派な1年生の「すてきさん」を見ることができました。

登校2日目、扉が開く前の昇降口では、隣の6年生にならって順番に並んで待つことができました。私の顔を見ると、

「園長先生、おはようございます！」と、元気な挨拶が返ってきました(園長先生ではないんだけどなあ…まあいっか)。

しばらくすると、私の背中をトントンする子がいます。

「ぼくの靴ばこがないんだけど」一緒に探してあげると、

「ありがとうございます！」

と嬉しそうに言って、教室に入っていました(入学式で話した「魔法の言葉」が使えた!感激!)

1年生の教室に行くと、6年生の子どもたちが、ランドセルのしまい方、連絡帳の出し方、お道具箱の使い方など、それぞれに困っている子の手助けをしていました。おかげで、誰一人泣いている1年生はいません。昇降口も同じ、教室も同じ棟という環境の効果もあり、6年生の「すてきさん」の姿があちらこちらで見られています。

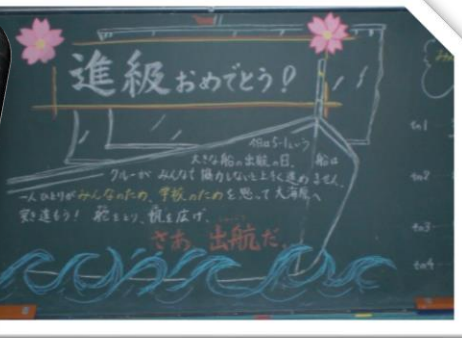
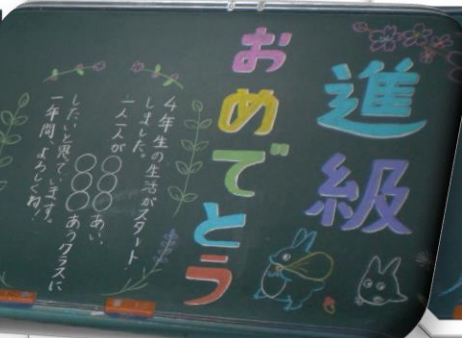


学校だより「開物成務」は月末25日頃の発行を基本とします(月によっては中旬・月末と2度の発行もあります)。いつでもお時間のある時に読んでいただきたいこと、カラー版でお届けしたいことを鑑み、マチコミメール及びHP上での発行とさせていただきます。



板書でお出迎え

どの子どもドキドキの登校初日。新しい学級担任が、子どもたちをあたたかいメッセージでお出迎えしました。ここに載せたのはほんの一例。紙面の関係で全部載せられないのが残念です。



<令和6年度教職員紹介 及び 令和5年度末離退任教職員紹介>

*個人情報保護の観点から、限定配信とさせていただきます



皆様との出会いに感謝いたします。新天地でのご活躍をお祈りいたします。

わたしのひとりごと

4月5日の始業式、これまで封印してきた自分の失敗談を、勇気を出して話しました。今でも、ものすごく後悔している話です。

小学校4年生の時でした。今日と同じ4月5日、別の学校から女の子が転校してきました。髪の毛が長くて、三つ編みが似合うかわいい女の子でした。

転校してきたばかりなのに、その子はお勉強もできて、スポーツもできて、授業中はたくさん手を挙げて、すぐにクラスになじみました。

6月になったある日、その子が登校してきたとき、みんな驚きました。なぜなら、あんなに長かった髪の毛がバツサリと短く切られていたからです。それを見たクラスの人たちが、本人に聞こえないように、

「左右で髪の毛の長さが違うよね」

「前の方が似合っていたよね」

と言い出しました。私も「そうだよね」と話の輪に加わりました。そのうち、髪の毛とは関係のない、意地悪なひそひそ話が多くなっていきました。ある日を境に、その子はどうとう学校に来なくなりました。

「こんなに悲しい思いをする友達を絶対に作ってはいけません。もっと優しい人になりたい。」

私は強く思いました。それは今でも変わりません。45年以上たった今でもものすごく後悔しています。私の失敗から学んでください。

保護者の皆様の親のような年代となりました。今でも日々小さな失敗を繰り返しています。でも、失敗や苦しい辛い経験は、私の生きる糧となっていることは間違いありません。お読みいただいた方にちよっぴり勇気を、元氣をおすそ分けできれば…今年度もまたお付き合いいただければ幸いです。

